

日本機械学会エンジンシステム部門

2023年度第1回 先進内燃機関セミナー研究会(A-TS 07-47)

日時：2023年8月22日(火)13:00～17:00，会場：交通安全環境研究所，参加人数：27名

話題提供

1. 水嶋主査（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

『研究会の趣旨説明，公的研究機関の役割について』

今年度の第1回研究会ということもあり，主査から改めて研究会の趣旨として学生を含めた若手研究者と技術者の交流・育成を目的として今年度も活動する旨を説明して頂いた。また，今年度と来年度は国内の研究機関を巡る予定であるため，国内の研究機関の概略を説明して頂いた。

2. 鈴木 央一 氏（交通安全環境研究所）

『交通安全環境研究所の研究所紹介，話題提供』

交通安全環境研究所の役割と活動内容として，安全と環境基準案の策定からリコールまでを含めた自動車の上流から下流までを対象とした取り組みに関して，具体的な事例などを交えて詳細に説明して頂いた。

3. 小橋 好充 氏（岡山大学）

『ディーゼル燃焼の壁面熱伝達に及ぼすサイズ因子および燃料噴射速度の影響』

カーボンニュートラル時代に求められるディーゼルエンジンの特徴として熱効率を更に向上させるためには各損失の低減が必要であるが，特に冷却損失を減らすためにディーゼルエンジンの相似性に着目して，火炎においては相似性が良く成り立つが冷却損失は相似性が無くなる点に関して最新の研究事例をご紹介いただいた。

4. 大森 佑哉 氏（茨城大学）

『高圧縮比火花点火エンジンの希薄限界拡大とノック抑制に資する燃料に関する研究』

熱効率向上を目的としてリーン限界の拡大を狙う場合には高負荷かつリーンでの耐ノック性の向上が必要であることから，バイオ燃料をターゲットとしてオレフィン燃料を含めてその可能性を探る研究事例をご紹介いただいた。

5. 施設見学

『排気ガス実車実験棟 乗用車用環境シャシダイナモメータ』

『大型自動車排気研究棟 大型車用シャシダイナモメータ』

以上